

講義名	社会学基礎(2年生以上)(オンデマンドの回あり)			授業形態	
担当教員	桑原 桃音	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

社会学は、世の中に起こるあらゆる現象について、科学的に調べた学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということの意味。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具(社会学理論の基礎)を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読み解くことを目的とする。

授業方法について：
 ・この講義は、15回中7回がオンデマンド型授業です。毎回、前日までにキャンパスクロスを確認して、次の回が対面授業かオンデマンド型授業かを確認して授業を受講してください。
 ・オンデマンド型授業とは、教材と学習方法をオンライン上の動画等で教員が提示し、学生が自分で学習するものです。動画等で課題の指示がありますので、情報を見落とさないように気をつけましょう。

到達目標

- 社会学の基礎的な考え方を理解できる
- 社会学の視点で社会を眺める基礎的な構えが身に付く
- 現実社会のさまざまなテーマに取組み、社会の仕組みや働きを学びながら、より良い社会のあり方について考えることができるようになる

提出課題

- 対面授業の課題：講義時にワークシートや小テストに解答するか、もしくは毎回講義を受講した後、LMS(学習管理システム)、おもにキャンパス・クロス等でワークシートやコメント等を提出する。
- オンデマンド型授業の課題：キャンパスクロスで授業内容と動画等を確認し、動画を視聴する。動画視聴後にLMS(学習管理システム)、キャンパス・クロスを経由して小テスト、LMSの課題、コメント等を提出する。
- 対面授業形式ではマークシート形式で、これまでの課題をふまえたテストを複数回実施します。どちらの形式の授業でも、キャンパスクロスのテスト機能を用いて小テストを実施します。繰り返し小テストを受けることで、テストの形式に慣れ、授業内容について理解を深められるようにします。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

- 対面授業形式の回の冒頭で、前週までに行った課題やLMS(学習管理システム)でのコメント・質問に対し、回答します。
- さらに、中間、期末にフィードバックに多くの時間を割いた授業を行う。課題の模範解答、正答率が低い問題の解答、質問・コメントを中心にフィードバックしていく。

評価の基準

- 講義内のワークやコメント等の提出(30点)
 記述式問題、ワークシート、コメント等は、学んだ内容や概念について理解・説明ができていのか、具体例が適切かで評価する。
- テスト(70点)
 小テストは穴埋め式、選択式にして1問ごとに採点する。
 15回中に何回か理解度を確かめるテストを行う。記述式、マークシートどちらも課される。

履修にあたっての注意・助言他

- 対面授業、オンデマンド型授業共通
- LMS(学習管理システム)を利活用するので、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。
- 毎週講義前日にキャンパスクロスの講義連絡、授業教材フォルダ等を確認すること。
- 教科書を使用するので、必ず準備すること。
- 予復習を必ずすること。

- オンデマンド型授業
- 1) 授業前日までにキャンパスクロスにおいて教材、学習方法、動画等について確認しておくこと。
- 2) 動画視聴前までに予復習を終わらせておくこと
- 3) 教科書や教材を参照しながら、指定された動画や教材を視聴・確認すること。
- 4) 提示された課題(小テストを実施して提出し(メチル)、授業内容を整理・まとめるなどして復習時間を確保すること。

課題の印刷や提出方法は動画内で示される。

下段にある「双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述」をよく読んでおくこと。

教科書

『大学生のための社会学入門 日本学術会議参照基準対応』	藤原清夫・栗田真樹編	晃洋書房	2200	9784771027176
-----------------------------	------------	------	------	---------------

参考図書

その他

資料に必要に応じて、キャンパスクロスで配布する。参考文献も講義中に適宜指示する。講義では、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用する。

授業計画

授業内容が前後する可能性がある。シラバスだけでなく、必ず授業前日までにキャンパスクロス等で授業形式を確認すること。

- 第1回 【対面】イントロダクション・社会学とは何か
 予習：シラバスをよく読み、取り上げる授業回に該当するの章冒頭を讀んでくる。(2時間)
 復習：授業の受講方法を確認する。出題された課題を解く、考えたことをノートにまとめる(2時間)。
- 第2回 【対面】変容する家族のかたち(1)：「家族」の常識を問い直す
 1) 予復習内容
 予習：教科書、配布資料のわからない言葉調べ、興味を持った内容をノートにまとめる(2時間)。
 復習：出題された課題を解き、教科書・資料を見たらうえてノートを整理し、考えたことをまとめる(2時間)。
- 第3回 【オンデマンド】変容する家族のかたち(2)：近代家族から現代家族へ
 対面式からオンデマンド式に切替わる期間としてハイブリット式で実施 1) 予復習内容と同じ
- 第4回 【オンデマンド】社会で生きる「私」 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第5回 【オンデマンド】社会学から医療をみつめる | 予復習 1)の内容と同じ
- 第6回 【オンデマンド】まとめ1&フィードバック1 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第7回 【対面】中間テスト&ふりかえり
 予習：これまでの授業内容を復習し、課題を見直してテスト勉強をする(3時間)。
 復習：出題された課題を解き、教科書・資料を見たらうえてノートを整理し、考えたことをまとめる(1時間)。
- 第8回 【対面】性の多様なありかたを考える | 予復習 1)の内容と同じ
- 第9回 【対面】映画で学ぶジェンダーとセクシュアリティ | 予復習 1)の内容と同じ
- 第10回 【オンデマンド】「現実を生きる」ための社会学 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第11回 【オンデマンド】逸脱行動と社会学 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第12回 【オンデマンド】生活空間としての地域社会 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第13回 【対面】映像資料で学ぶ地域社会 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第14回 【対面】社会の中のメディア/メディアが動かす社会 | 予復習 1)の内容と同じ
- 第15回 まとめ&試験、後半のフィードバック
 予習：これまでの授業内容を復習し、課題を見直す(2時間)。
 復習：出題された課題を解き、教科書・資料を見たらうえてノートを整理し、考えたことをまとめる(2時間)。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる能力を身につける。社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 対面授業やオンデマンド型授業どちらもICTを活用した授業を実施します。毎回の授業時にはスマートフォン、もしくはPCやタブレット等を準備してください。
- オンデマンド型授業では動画を視聴します。OneDriveにログインして動画ファイルを再生する方式を主に採用しますが、慣れるまではYouTubeでの視聴方式を採用する可能性もあります。オンライン上の動画を視聴できる環境を整えましょう。
- LMS(学習管理システム)を利用するので、大学のメールアドレスをあらかじめ確認しておき、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。

実務経験の有無及び活用

備考
